

かがやく女性

vol.56

2024年3月25日発行
(公財) ふくい女性財団

- The Fukui Women's Foundation News Letter -

特集 女性視点の防災対策

災害時において、女性が安心・安全に過ごせるための対策や避難所運営における女性への配慮の必要性が、今回の能登半島地震でも問われています。東日本大震災以後、国では男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインを示してはいますが、まだまだ女性への配慮が充分でないことが明らかになっています。

そこで今回は、過去に地域連携講座等でご講義いただいた福井工業高等専門学校の芹川先生より、女性土木研究者としての視点で、地震における対策を中心に、今後の災害に備え何を意識しどう行動すべきなのかを、ご紹介いただきました。

福井工業高等専門学校
環境都市工学科 助教
芹川 由布子 氏



つい先日、人生5度目の転居を経験しました。大学編入・松江高専着任・福井高専への異動・結婚による転居×2…地盤の成り立ち、山が近いのか、海が近いのか、川が近いのか、原発が近いかなどなど、職業柄、新しい土地に来るとその地域の災害リスクを考えてしまいます。

引っ越しを終えた時、わたしは『マイ・タイムライン』(参考：国土交通省 逃げキッド)について考える時間をつくりました。このマイ・タイムラインとは、避難に備えた行動を時系列的に整理し、災害発生時に慌てることがないように、防災行動を自身であらかじめ決めておくものです。

マイ・タイムラインを作成するにあたり、まずは自宅周辺に潜む危険箇所の調査を行いました。散歩がてら、近くの川の状況や氾濫危険箇所、避難所までの道中にある側溝の場所をチェックしました。(この散歩というのは、来たる3月31日のふくい桜マラソン2024に出場するための特訓です。) 豪雨や台風といった避難が必要な状況を想像しながら歩いてみると、いつもは感じることもなかった危険が見えてきます。視界の悪い、見通しがきかない状況を想定したとき、道路脇と田んぼや川・側溝の境界がわからないこと、歩いている自分の姿が目立たないこと、車の接近

に気が付かないことなどが挙げられます。次に、そんなときに何が必要となるかを想像してみました。暴風雨をしのぐための雨具、足元を照らすためのライト、自分の存在を知らせるための反射材や笛といったグッズを持っていることで避難時の危険を回避することができるのではと考えました。

このように、異なる状況ごとに想定や備えをすることは



国土交通省 逃げキッド

特集 女性視点の防災対策

とても重要ですが、想定した通りの災害が発生しても限りません。令和6年能登半島地震は元旦に発生したために、いつもの生活圏ではない場所で被災された方も多くいました。避難所では、地元の人だけでなく、実家に帰省していた人や観光客の姿も見受けられたといわれています。いつ・どこで・どのような災害に遭遇するかはわかりませんが、様々な想定をしておくことで、いざというときにとれる行動の選択肢が広がり、ご自身や周りの人の命を守ることでできる可能性が高くなるとわたしは思っています。まずは、ご自身を守るための備えをしてみたいはいかがでしょうか。

そんなわたしは、高専教員として地震工学や防災工学に関する研究をしており、前述のような防災教育も行っています。地震工学の中でも液状化現象を専門としており、被災地の現地調査に行くことも多くあります。これまでに、2016年熊本地震・2018年北海道胆振東部地震・インドネシアスラウェシ島地震、そして元旦に発生した令和6年能登半島地震の現地調査を行ってきました。被災地では、液状化発生地域を対象に、被害を受けた家屋や住人の健康状態を調査しています。液状化現象は、ニュースで目にする悲惨な状況だけではなく、わずかに傾斜しただけでも家屋としての機能を果たさなくなってしまう、住めなくなることもある恐ろしい被害です。報道されている被害の他にも、クローズアップされていない大変な状況は数えきれないほどあるのが現実です。襲ってくる災害の力を小さくすること(例えば防波堤や耐震装置)には限界があります。そこで備えておきたいのが、個人の防災意識と身を守るための知識です。

防災に関する知識については、時代とともに変化しつつあります。例えば、ひと昔前までは、地震がきたらすぐにコンロの火を止めるということを考えていたかもしれませんが、現在ではマイコンメーターの普及により、地震を感知した時点でガスの共有が止まる仕組みとなっています。そのため、身を守る行動を第一に心がけるよういわれているのです。木造住宅では、一階部分の層崩壊が危険といわれてきましたが、新耐震基準を満たす家屋ではそのような被害を受けにくく、二階など上層階の大きな揺れによる棚の転倒などの危険性が指摘されるようになりました。これらのように、都市の発展や時代の変化とともに、災害時にとるべき行動も変化しているといえます。つまり、これまで思い込んでいた常識が間違いになってしまっている可能性も考えられるのです。そして、この常識(考え方)には性差が影響している場合もあります。

突然ですが、ここでクイズです。『父親と息子が自動車事故に遭ってしまいました。父親はその場で亡くなってしまい、重傷を負った息子は救急車で病院に運び込まれました。息子が手術室に運ばれ、その病院で一番の腕利きの外科医が呼ばれました。ところが、その外科医はその少年を見て言いました。「手術はできません!…息子!この少年は私の息子です!!』このクイズを聞いた時、…ハテ?と首を傾げた人は少なくないと思います。わたしは???でした(笑)このクイズの答えは、『外科医は母親だったから』です。外科医=父親という認識を「アンコンシャスバイアス」といいます。アンコンシャスバイアスは、無意識の思い込みともいわれており、誰しもが持っている認識の差となります。アンコンシャスバイアスは日々の経験から形成されるものが多く、生活圏や仕事異なる男女でも差があるといわれています。防災についても、様々な知識を持つことに加えて、そこには性差があるという事実も知っておかなければいけません。

東日本大震災時の支援ニーズに関する内閣府の調査では、生理用品などの女性用品のほか、粉ミルク、小児用おむつ、おしりふき、離乳食等の乳幼児用品について、女性からの要望が多く挙がっていたことが明らかとなっています。備蓄品や支援物資として、粉ミルクと哺乳瓶はあっても、お湯や消毒剤がないため使用できなかったとの事例もありました。また、停電で灯りが無い・寒い・暑いなどといった劣悪な環境の他



石川県内灘町の液状化現象

にも、避難所では窃盗の被害が発生します。トイレがすぐに詰まって悲惨な状況になったことから、トイレを我慢して脱水になったりもします。歯磨きも十分にできずに口腔内の環境が悪化したりもします。雑魚寝生活が続くことで寝不足にもなります。床のホコリを吸ってしまう可能性もあります…。このような生活環境の悪化によって体調を崩し、命を落とすことを災害関連死といいます。能登半島地震においても、これらの災害関連死の報告がされています。このような状況を乗り切るためには、今、何ができるのでしょうか。

必要とする支援物資の種類・避難所の環境で重要視すること、どちらにも男女のニーズ差があることがわかっています。しかしながら、災害時に被災者全員の支援ニーズに全て応えることは不可能で、男女のニーズ差を埋めることもそう簡単ではないはず。そこで大切になるのが、災害が起こる前の体制だと思っています。これまでの災害では、乳幼児や女性・高齢者の支援ニーズに対して、十分に対応できてい

なかったという報告がされています。これは、今の防災計画に女性の声が反映されていない、そもそも、防災計画を考える場に女性が参画できていないという状況が問題だと思っています。

防災にこれといった正解はありません。どのような災害が、いつ、どこで起こるか…正解がわかっていないからこそ、老若男女みんなの意見を取り入れた防災計画や避難所運営を考えていくべきなのです。そのためにはまず、お互いがたくさん話をして、お互いを理解すること。そのなかで「へえ～オレ(わたし)にはその考えなかったわあ～」という気づきがあれば、今よりも多くの視点が反映されるかもしれません。まずは身近な人と防災についての話をしてみたいかがでしょうか。いざという時に、ご自身や大切な人の命を守るための選択肢を増やしておくことが、地域の防災力向上に繋がるかもしれません。

新米パパママ応援講座「親子で学ぶ！災害から生き延びる災害時ごはん」開催

この講座では、パックパッキング(耐熱性のポリ袋に食材を入れ、袋のまま鍋で湯煎する調理方法)で、「サツマイモごはん」などを調理実習しました。また、災害時ごはんについての講義では、「非常食は普段食べているレトルトや缶詰、常温で日持ちする野菜などを繰り返し備蓄するほうがより良い。備蓄する食品も、心と身体を元気にするものや普段食べ慣れているもの、野菜でも無理なく備えられるものを加工方法を考えて選んでほしい」といった具体的なアドバイスがありました。みなさんも災害時に備えて、普段の食事づくりの際に調理できるように練習しておきましょう。

レシピ提供



野菜ソムリエプロ
中島 早苗氏

サツマイモごはんの作り方

材料と道具

米40g、水60ml (以下[A])、サツマイモ40g、塩少々、ごま塩少々、食品用のポリ袋 (耐熱温度130度以上のもの)、鍋、ガスコンロ、ガスボンベ、鍋に入れる平皿、鍋に入れる水、トング

作り方

- ①ポリ袋に[A]を袋の中に入れて30分おく。
- ②サツマイモを角切りする。
- ③30分経過した①に②と塩を入れて、水を張った鍋に沈めて袋の中の空気を抜き、袋の口を結び鍋の火をつける。袋を加熱すると膨らむので、結び口は上のほうでしっかりと結ぶ。
- ④沸騰したら、火を弱め沸騰を保つ。沸騰後20分で火を止め、鍋から袋ごと取り出し10分蒸らす。
- ⑤結び目を切って、器に盛り、ごま塩をふって完成。



水がほとんど
使えない状態で
調理してみましょう!



パッククッキングの注意点

- 必ず耐熱性のポリ袋を使うこと。
- 鍋底に皿を敷いた状態で加熱すること。
- 袋の空気はしっかり抜くこと。
- 入れる分量に応じて大きな鍋を使うこと。
- 使用したポリ袋は繰り返し使わないこと。



新米パパママ応援講座にて

令和5年度ふくい女性財団開催講座報告

キャリアアップ応援講座

伝える!伝わる!簡単コミュニケーション術

FBC福井放送 キャスター
川島 秀成 氏

普通人前で話すのは
苦手だが、講座で学んだ
気持ちの持ちようや
話の組み立てを意識して、
少しずつ解消したい



共感やあるあるを
取り入れるという点が
とても参考になった。
会話のネタや構成など、
今後活かしたい

現役キャスターである講師から、伝わるコミュニケーションを取るためのマインドやテクニックについて、個人ワークやグループワーク、さらにはそれらの発表を通して学びました。

キャリア・アカデミー

女性リーダーのための 周囲を巻き込むコミュニケーションスキル

株式会社アイズプラス 代表取締役
池照 佳代 氏



社内での
コミュニケーションに
悩んでいたが、EQを知り、
前向きな気持ちに
なることができた

1日目は、EQについての簡易検査を各自行った上で、ワークを通じ、どの領域を高めれば自分のありたい姿に近づけるのかを学びました。2日目は、ダイバーシティやイントラパーソナルダイバーシティがイノベーションをうみだすことを学び、メンバーを巻き込み、自分らしいリーダーシップでチームを作る方法について学びました。

ハッピーキャリア“縁”カレッジ

ロールモデル交流実践講座

ふくい女性財団が委嘱する社外メンター
サントリーパブリシティサービス株式会社 ほか

完璧でなくてもいい、
いろんな助けを借りて
乗り越えていけばいい、
という考えに共感した



覚悟をもつ・
覚悟を決めて
仕事をする、という言葉が
印象に残った

福井県主催「ハッピーキャリア“縁”カレッジ」の受講生を対象に、仕事と家庭の両立や仕事上の不安・悩みを共有するグループワークを行いました。その後の交流会では、県内企業ですでに活躍している社外メンターからそれらを解消するヒントをもらいました。

指導者養成講座

人生100年、 「今どきシニア」のこれからの生き方

一般社団法人シニアライフデザイン協会
高平 ゆかり 氏

まさに行動力が
大切だなと感じた



自分の置かれた
立場なりに、3つの
要素を吸収して
進めることの
方向性を理解できた

シニア世代にとって必要な「情報選別力」「お一人様仕事力」「学びの習慣」の3要素を学んだ上で、今のシニア世代は、時代背景的に働き方の変化に強い傾向にあるので、柔軟に自分のやり方でキャリアを積むことができると激励していただきました。

地域連携講座

介護・介護予防から見た男女共同参画 (南越前町男女共同参画ネットワーク主催)

福井県介護支援専門員協会理事
天谷 早苗 氏

避けては通れない
問題なので、
とても良かった



自分自身の
心構えや、
家族との連携を
考え直したいと思った

一般的に、虚弱状態をいう「フレイル」が、健康寿命を左右すると言われています。慢性疾患や社会的な活動の低下等により、ドミノ倒しの様に心身機能が低下しないようフレイル対策が重要であることや、健康面や介護場面での男女差の現状と課題について学び、男女共同参画社会について考える機会となりました。

教育連携講座

仲間大切さについて(LGBTQの観点から)

株式会社MYFOOT 芸能部
花華院 姫子 氏

LGBTQの人の
気持ちを知る事が
できて良かった



日常使っている
言葉が、
知らない間に人を
傷つけていることが
あると知った

LGBTQ活動家である講師が、LGBTQの意味やカミングアウトしている芸能人等を例に挙げ、LGBTQが身近な存在であることを説明しました。さらに、講師に同伴した当事者から、これまでの経緯や思いが語られ、他者と比較せず個性を尊重していくことが大事であることを学びました。

新米パパママ応援講座

「もうやめた!」にならない! パパとママのための家事シェア講座

男の家事教室・カジオス 代表
尾上 元彦 氏

講師の方の話が
男性目線、女性目線
どちらからでも共感できる
内容で、なんとなくモヤッと
していたことが明確になった



「名もなき家事ワークショップ」では、家事シェアと仕事の共通点の紹介と、「二人で家事に対する考え方を話し合い、目標を立てると良い」といった家事シェアを進めるための具体的なアドバイスを聞きました。その後、カードゲーム「爆発前夜」を使って、名もなき家事が身近にあることを顕在化させ、男女それぞれの家事に対する考え方をシェアしました。

次世代育成セミナー

私が選ぶ私の進路～一人ひとりが輝くために～

【開催校】 池田町立池田中学校、高浜町立内浦中学校
福井市殿下小中学校、坂井市立坂井中学校

完璧で
なくてもいい、
いろんな助けを借りて
乗り越えていけばいい、
という考えに
共感した



男性介護福祉士

女性弁護士

覚悟をもつ・覚悟を
決めて仕事をする、
という言葉が
印象に残った

固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく、将来の職業や生き方を選択できるよう、先輩の体験などを学ぶセミナーを中学生を対象に、開催しました。男性が多い職業につく女性(弁護士、自衛官など)、女性が多い職業につく男性(介護福祉士、看護師など)に、仕事の内容やその仕事を目指した理由、仕事のやりがいなどをお話いただきました。

令和6年度 ふくい女性財団開催講座のご案内

働く女性のキャリアアップ応援

キャリアアップ応援講座

対象：県内の働く女性

日時	テーマ	講師	定員
7月23日(火)13:00～16:00	～ロジカルトランプを使って学ぼう～ ロジカルシンキング ●	オフィス・マインドルージュ 藤田由美子氏	30名
11月8日(金)13:00～16:00	事務ミスゼロの仕事術	(株)ビジネスプラスサポート 麻野由佳氏	30名
11月26日(金)13:00～16:00	また会いたいと思わせる話し方 ～人前でもっとうまく話せるようになりたいあなたへ～	FBCキャスター 川島秀成氏	30名
2月13日(木)13:00～16:00	やらされ感をやりにい!! ジョブ・クラフティング研修 ○	(株)ガイアシステム 岡佐紀子氏	40名

企業における女性活躍推進

キャリア・アカデミー

対象：女性管理職予備層・管理職

日時	テーマ	講師	定員
9月10日(火)10:00～15:30	女性管理職予備層対象 ～自分らしさを知るとチームが輝く～ 背伸びしない、でも遠慮しない女性のためのリーダーシップ講座 ○	(株)Corelead 有冬典子氏	40名
10月8日(火)10:00～15:30	女性管理職予備層対象 ～自分らしさを知るとチームが輝く～ 背伸びしない、でも遠慮しない女性のためのリーダーシップ講座 ○	(株)Corelead 有冬典子氏	40名
12/11(水)～12(木)【2日間】 9:30～16:00	女性管理職対象 女性リーダーのための周囲を巻き込むコミュニケーションスキル	(株)アイズプラス 池照佳代氏	30名

女性リーダーサポート講座

対象：女性部下を持つ管理職(男女問わず) 定員：30名

日時	テーマ	講師
9月27日(金)10:00～15:30	心理的安全性の高いチームビルディング術	(株)ザ・アカデミージャパン 林朋子氏

家事・育児参画

パパママ応援講座

対象：子育て中の夫婦とその子ども(0才～小学校低学年) 定員：20組/回

日時	テーマ	講師
9月7日(土) 10:00～11:30	パパ育児や産休・育休をこれから取ろうとする方対象 育休の基礎知識と進め方(仮)	育休後コンサルタント 山口理栄氏
9月7日(土) 13:00～14:30	育休、パパ育児の復帰直前の方対象 育休後復帰支援セミナー(仮)	育休後コンサルタント 山口理栄氏
11月9日(土) 10:00～13:00	親子またはパパママ対象 魚のさばき方講座(仮)	福井市漁協女性部
1月18日(土) 13:30～15:00	パパママ対象 こどもの好き嫌いをなくすヒント(仮)	管理栄養士 國本達矢氏

男女パートナーシップ推進

指導者育成講座

対象：男女共同参画に関する地域・組織のリーダー 定員：30名/回

日時	テーマ	講師
8月(平日) 13:30～15:00	県配偶者暴力被害者等及び困難な問題を抱える 女性支援計画について	福井県児童家庭課
9月(土) 13:30～15:00	今求められるジェンダー表現(仮)	(株)TIEWA代表・ パレットーク編集長 合田文氏
10月(土) 13:30～15:00	多様性、ジェンダー、セクシュアリティとは。(仮)	調整中
11月(土) 13:30～15:00	シニア世代のウェルビーイング	調整中

※2024年3月時点の情報です。講座は原則生活学習館で開催します。 ○：オンライン開催の講座 ●：嶺南地域開催講座
※講座内容、講座日時、講師は変更となる可能性があります。詳細はホームページをご覧ください。

令和6年度 各種講座講師派遣のご案内

ふくい女性財団では、性別をこえて誰もが輝く社会づくりに向け、研修会や講座を実施する団体に講師を派遣しています。ぜひご活用ください。各講座に関する案内はホームページ等をご確認ください。

講座名称	対象	開催テーマ(例)
地域連携講座	【対象】 地域で活動する団体等 地域住民向けに実施する、固定的な性別役割分担意識の是正や女性の社会参画等に関する講座に講師を派遣する。	<ul style="list-style-type: none"> 性の多様性について理解を深める DVの現状 男女共同参画の視点での防災 男女共同参画の視点での介護・健康 男性の家事情況参加
教育連携講座	【対象】 学校や教育関係団体等 生徒や保護者、教員等を対象としたセクハラ防止や多様な性のあり方、アンコンシャスバイアスなどの研修に講師を派遣する。	<ul style="list-style-type: none"> デートDVについて 家族のありかた 親子で楽しむキャリア教育 LGBTQについて
県民活動支援講座	【対象】 県内で活動するグループや団体等 県民向けに実施する、男女共同参画に関する講座に講師を派遣する。	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダー平等について 男女共同参画の理解促進 雇用における男女共同参画の推進 女性の活躍推進について
デートDV等防止啓発教育講座	【対象】 県内の高等学校生徒等 県内高校生等を対象に、デートDV等防止啓発教育研修に、講師等を派遣する。	<ul style="list-style-type: none"> デートDVについて デートDVの種類 対等な交際関係 悩んだ場合の相談窓口

【募集期間】 令和6年4月～令和7年2月

【実施時期】 ●前期：令和6年5月～令和6年9月(前年度に派遣実績がない団体など)

●後期：令和6年10月～令和7年2月

※各講座によって募集件数が決まっており、申込時期によってはお断りする場合があります。

男女共同参画社会の推進に関するもの(ただし、営利・政治・宗教活動を除く)

【依頼方法】 ●まずは、電話やメール等でふくい女性財団までご相談ください。

●開催希望日の1ヶ月前までに申請書をふくい女性財団まで提出してください。

各講座 共通事項

【講師】 講師は主催者と協議のうえ決定します。(県内講師に限ります)

【参加人数】 1講座あたり20名以上(原則)

【研修時間】 1時間30分程度

【費用負担等】 ●講師の謝金および旅費は、ふくい女性財団が負担します。

●講座の企画や当日運営(会場設営、講師の接遇、配布資料の準備等)は、原則主催者でお願いします。

●アンケート用紙(様式は財団指定)の準備と実施後の回収にご協力ください。

●講座終了後10日以内に実績報告書、写真等の提出をお願いします。

●生活学習館で講座を開催する場合は、会場使用料が免除されます。

●講座実施内容については、ふくい女性財団の広報に使用させていただきます。

<お問い合わせ> 公益財団法人 ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1(福井県生活学習館内)

TEL:0776-41-4254 FAX:0776-41-4260 E-mail: f-jhosei@f-jhosei.or.jp

社外メンターを導入してみませんか？



女性リーダーの育成や働きやすい職場環境づくりを進める企業をサポートするため、将来活躍が期待される女性社員や女性管理職・リーダーに対し、社外メンターによるメンタリングを実施する県内企業を募集します。

メンター制度導入のメリット

- 女性社員の成長につながり、キャリアアップ意欲が上がる
- 女性社員をサポートする体制が構築される
- 他の企業のロールモデルに触れることができる など

[対象企業] ふくい女性活躍推進企業

[相談者の要件] 将来活躍が期待される女性社員や女性管理職・リーダーなど

[メンタリング方法] 1on1の個別面談方式もしくはグループ

その他、詳細はホームページをご覧ください。

企業連携講座案内

女性の活躍推進を目的に実施する研修会に、講師を無料で派遣します。ぜひご活用ください。

- [研修内容例]**
- キャリアデザイン研修
 - コミュニケーション研修
 - 接遇スキルアップ研修
 - ワーク・ライフ・バランス研修 など

[対象企業] ふくい女性活躍推進企業

[募集企業数] 5企業
(原則先着順、これまでに実施していない企業を優先します)

[募集期間] 令和6年6月～令和7年1月

[実施時期] 令和6年8月～令和7年3月

[研修時間] 90分程度

[依頼方法] 開催希望日の2ヶ月前までに、ふくい女性財団までご相談ください。(派遣申請書、実施報告書を提出いただけます)

[講師] 講師は実施企業と協議のうえ決定します。(県内講師に限ります)

[参加人数] 1講座あたり20名以上(原則)

[費用負担] 講師の謝金および旅費は、ふくい女性財団が負担します。
詳細はホームページをご覧ください。



<お問い合わせ>

公益財団法人 ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1

TEL:0776-41-4254/FAX:0776-41-4260

E-mail:f-jhosei@f-jhosei.or.jp

ふくい女性活躍推進企業 登録募集中！

詳細は
こちら！



働く女性が半数を超える福井県において、女性が能力に応じ、責任を担って活躍することは、県全体の活力につながります。本県では、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業を「ふくい女性活躍推進企業」として登録し、その活動を支援しています。

ふくい女性活躍支援センター

ふくい女性活躍支援センターは、就職相談・職業紹介、キャリア相談、保育所・子育て相談に応じています。

例えば、

- ☑ 求人に応募したいので、紹介状がほしい。
- ☑ 自分がどんな仕事に向いているか知りたい。
- ☑ 履歴書、職務経歴書を作りたいが、なにを書いていいかわからない。
- ☑ 今の仕事を続けていくことに不安がある。
- ☑ 保育所の入園の仕方、特徴などの情報がほしい。
- ☑ 子育て支援についての情報がほしい。など



就職相談・キャリア相談・
保育相談のプロが答えます！
お気軽にご相談ください！

嶺南出張就業相談会

当センターから遠方の皆様にも、センターを利用していただけるよう、嶺南会場で出張相談を実施しています

令和6年度(前期)の予定日

! 敦賀会場 | 松原公民館 (敦賀市新松島町 22-48)

※原則第4水曜日
10:00 ~ 15:00
4/24、5/22、6/26、
7/24、8/28、9/25



今年度から、実施日・
場所が変更になりました！

! 小浜会場 | 働く婦人の家 (小浜市大手町 4-1)

※原則第1水曜日
10:00 ~ 15:00
4/3、5/8、6/5、
7/3、8/7、9/4



【問い合わせ】 ふくい女性活躍支援センター 時間:9:00~16:45 TEL:0776-41-4244



休日：毎週月曜日、第3日曜日、国民の祝日の翌日、年末年始(12/28 ~ 1/4)
場所：福井県生活学習館(ユウ・アイふくい)2階

焚き火×ホンネカフェ開催

期間：令和5年11月10日、11日(2日間)
会場：足羽川河川敷(泉橋~幸橋間)

ふくい女性活躍支援センターは、例年ユウ・アイふくいにて年8回程度実施している「ホンネカフェ」を足羽川焚き火イベント(*)とタイアップして、足羽川河川敷で焚き火を囲みながら、「焚き火×ホンネカフェ」として初めて開催しました。

焚き火でマッシュマロを焼いてスモアサンドを作りながら話しやすい雰囲気を作った上で、普段モヤモヤしていることや自分だけでは答えが見つからないことを参加者同士で本音で話し合いました。



両日もあまり天気には恵まれず、寒い中での

開催となりましたが、終了時間が近づくころには参加者同士が以前からの知り合いだったかのように話が盛り上がり、話し尽さない様子でした。

※足羽川焚き火イベント...まちづくり福井株式会社が企画した足羽川社会実験プロジェクトのイベントで、令和5年11月~12月の週末に実施した。



ユー・アイふくい相談室

ひとりで抱え込んでいませんか？

- パートナーから暴力を受けている
- 家族・夫婦・友人関係がうまくいっていない
- 離婚を考えているけど、その後の生活が不安
- 子育てについて悩んでいる
- 自分自身のこと悩んでいる

女性相談員がDV、女性のさまざまな悩みに寄り添い一緒に考えます。

秘密は厳守します。まずはお電話ください。



<ユー・アイふくい相談室(運営：ふくい女性財団)>

- 女性総合相談 ●DV被害相談
 - 特別相談(こころ 第1土曜日 法律 第4土曜日)
- 相談専用電話：0776-41-7111
火～日曜日 9:00～16:45

チャイルドルーム

利用できる方

県生活学習館、中小企業産業大学校、県立図書館・文書館・ふるさと文学館をご利用の方

※小さいお子さんがいる親子さんを対象とした講座等を開催の際はぜひ生活学習館の貸室をご利用ください。

お預かりできるお子さん

生後6か月から小学校就学前のお子さん

利用できる時間

生活学習館の開館日 9時～12時、13時～17時

利用方法

利用日の3営業日前までに、Webにて予約

費用

お子さん1人につき半日300円



利用申込はこちらから

資格取得を目指す、パパ&ママへ
こんな利用の方、増えています！

- キャリアアップのために、産休・育休中に学び直し
- 育休明けの職場復帰に備えてのリスクリング
- 育児をしながら自分のやりたいことに挑戦！！

福井FINEゾンタクラブとコラボ

期間：令和5年11月25日～12月10日(16日間)
会場：西武福井店8階

ふくい女性財団では、国が全国展開している「女性に対する暴力をなくす運動」にちなみ、賛助会員団体である国際ゾンタ26地区福井FINEゾンタクラブの「ZONTA SAYS NO」キャンペーンとの共催により、事業紹介のパネル展示や配偶者からの暴力(DV)防止に関する予防啓発リーフレット等の配布を行いました。



会員のつどいを開催

日時：令和6年3月9日(土)
会場：福井県県民ホール

これまで1月に開催していた「新年のつどい」を、国連によって制定された“世界女性デー”(3月8日)にちなんで、日程を変えて「会員のつどい」として開催しました。

現在放送中の大河ドラマ「光る君へ」の主人公紫式部が、生涯ただ一度都を離れて暮らした地が越前市ということもあり、今回、福井県女性のチャレンジ賞受賞者で、県歴史活用コーディネーターの後藤ひろみさんに「紫式部の謎と平安時代の女性観」と題してご講演いただきました。

その後、副知事などの来賓を交えて、抽選会や懇親会で交流を深め、男女共同参画推進に向けた活動のさらなる推進を誓いました。



「話す・聴く」、両方を大切にする時間

～共感とともに生まれる心のゆとり&知恵や情報を手に入れる～

身近なテーマを設定し、人の話を否定しないという約束の下で、同じ悩み・似た立場の女性同士が、少人数で安心して話ができる「ピアサポートサロン」。今年度の開催は110を超えました。静かな会話があれば、時には涙や、共感できすぎて互いに大笑い、なんて場面も見受けられます。

“ひとりじゃない”と思えることによって、皆さんに“力”が生まれている気がします。

テーマを設けずスタッフと話したり、ゆっくり一人の時間を過ごしていただくためのサロン「わたしの時間」も月2回設けています。

また、公募・登録制の「ピアサポーター」さんには、それぞれの悩みや課題の当事者・経験者としてサロンを開催していただいています。対等な立場で穏やかに寄り添い、参加の皆さんの心強い仲間となっています。

さまざまな思いを抱えた女性たちの、心のオアシスになれることを願って運営していますので、お気軽に足を運んでみてください。



当財団主催「くるり」フリートーク前の専門家によるミニ講座も好評です。



ピアサポーターとの連携サロン

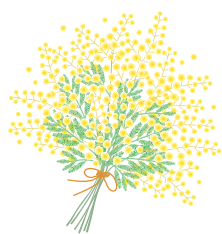


参加者の声

- 同じ立場の人と話し、思いが共有できて嬉しかった。
- 安心できた。
- 先が見えず不安だったが、来て良かった。一步踏み出せそう。
- 他の人も同じようなことで悩んでいると分かった。
- 考え方を少し変えてみるだけで、楽になれるのだと思った。
- 前向きになれた。
- いろいろな話ができ、とてもいい時間だった。
- 考え方が似ている人も違う人もいて、いろいろな角度から考える良い機会になった。
- 少人数なので気兼ねなく聞きたいことが聞け、モヤモヤがスッキリした。
- フランクに話ができ、とても良かった。
- 講師が丁寧で、分かりやすく、専門性もあり良かった。
- 他の参加者につられて、気楽に話や質問ができた。



出かけるピアサポートサロン



女性の悩みや不安を知る講座

女性の抱える悩みや不安について、学校や職場、地域等で理解が進むよう、講座を開催しました。

Part1 摂食障がい～心が発するSOS～

Part2 発達障がいと就労～戸惑いから協働へ～



生理用品をお渡ししています

経済的にお困りの方に、昼用・夜用をセットで提供。



場所

- ①ふくいウイメンズ・オアシス
- ②ふくい女性活躍支援センターが実施している「出張就業相談会」会場(敦賀・小浜/月1回)

※出張就業相談会の開催日時・場所はHPでご確認ください。

ふくいウイメンズ・オアシス
(福井県生活学習館2階)

TEL : 0776-89-1008
開館日の9時～12時、13時～17時



いま輝いています

Our Member

【加盟団体】 大野男女共同参画ネットワーク

令和6年度に創立33年を迎える本会は、これまで、男女が性別にとらわれず、自分らしく、いきいきと暮らせる社会になることを願い、講演会や学習会、先進地との交流など、様々な取り組みを行ってきました。

令和5年度は、パートナーシップ宣誓制度の学習会や、男の家事をテーマに「共家事」についての講演会を開催しました。2月には、福井県初の女性副知事である鷺頭美央さんに「女性が働きやすい社会の実現に向けて～仕事も家庭も楽しむために～」と題し講演いただきました。いずれも、楽しみながら、学び、気づき、私たちの背中を押してくれるような充実した内容でした。

今後は、人口減少や少子・高齢化、ライフスタイルや価値観の多様化など、急速な世の中の変化にも対応しながら、活動を続けていきたいと考えています。また、6月開催の「ふくいきらめきフェスティバル2024」は、大野市が開催地となり

ます。ぜひ、多くの人にお越しいただき、楽しく学びながら交流を深めたいと思っています。



◀パートナーシップ宣誓制度の学習会



鷺頭副知事による講演会▶



開催します!

ふくいきらめきフェスティバル2024

日時：令和6年6月8日(土)

会場：結とぴあ(多田記念大野有終会館)

今年のふくいきらめきフェスティバルは、大野市で開催します! 昨年公開の映画「おしよりん」脚本家の関えり香さん(越前市出身)と原作者の藤岡陽子さん、フリーアナウンサーの井上愛梨さんとの鼎談および映画上映を行います。

関えり香氏

越前市出身。NHK連続テレビ小説「てっぺん」、KTV「後妻業」などのドラマ脚本を手掛ける。

井上愛梨氏

元福井テレビアナウンサー。

藤岡陽子氏

京都府出身。大学卒業後、報知新聞社にスポーツ記者として勤務。退社後、タンザニアの大学に留学。帰国後に執筆活動をはじめ、「いつまでも白い羽根」でデビュー。著書に「おしよりん」他多数。

財団サポーターになりませんか?

賛助会員募集

ふくい女性財団では、財団の趣旨に賛同し、応援し一緒に歩んでくださる賛助会員を募集しています。

年会費(すべて1口あたりの金額です)

県域法人および団体	10,000円/□
地域法人および団体	5,000円/□
一般(個人および企業)	3,000円/□

会員特典

- 機関紙・研修案内送付
- 有料講座の割引
- 研修会等への優待
- 女性団体支援事業による助成(団体会員のみ要審査)
- 生活学習館1階カフェ「アチル」割引クーポン
- 2回目以降の社外メンター派遣利用料金2割引(一般(企業)会員のみ)

寄附金募集

<DV被害者等自立支援基金><一般寄附金>の寄附を幅広く募集しています。いただいた寄附金は、DV被害者などへの金銭的支援や当財団の運営に有効に使用させていただきます。詳しくは、財団ホームページをご覧ください。

令和5年度 寄附のご紹介(令和6年3月現在)

「一般寄附金」 匿名希望1件…10,000円 匿名希望1件…ランドセル42個

※当財団の賛助会費と寄附金は税制上の優遇措置対象

一般寄附金活用状況

働きたい女性のための仕事に役立つパソコン教室の開催
(Wordの基礎、Excelの基礎)

かがやく女性 vol.56

編集・発行 公益財団法人ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1 福井県生活学習館(ユー・アイ ふくい)2階 TEL:0776-41-4254

FAX:0776-41-4260 E-mail:f-jhosei@f-jhosei.or.jp URL:https://www.f-jhosei.or.jp/

次回は令和6年9月発行です



Fukui SDGs Partner



ふくい女性財団 HP



ふくい女性財団 各種 SNS

